

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
調査地点	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:32	09:38	13.1	13.4	砂	10YR4/4	なし	0.55	>50
C-6	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:32	09:38	13.1	13.4	砂	10YR4/4	なし	0.55	>50

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:32	7.5	<0.5	1.8	11.0	9.8	0.05	0.8	<1	0.8	N.D. (0.0014)	0.0033	0.00054
C-6	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:32	7.5	<0.5	1.8	11.0	9.8	0.05	0.8	<1	0.8	N.D. (0.0014)	0.0033	0.00054

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:38	7.8	460	18.1	1.1	0.9	2.659	32.3	50.9	8.4	1.3	3.9	3.2	1.5	9.5	1.2	36	0.33
C-6	37.7764°	140.8877°	R3.10.21	09:38	7.8	460	18.1	1.1	0.9	2.659	32.3	50.9	8.4	1.3	3.9	3.2	1.5	9.5	1.2	36	0.33

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	R3.10.19	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0021	—	—	—	120	N.D. (15)	120	—	
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	22	0.023	幼虫	—	—	—	19	N.D. (1.5)	19	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	99	0.0059	幼虫	—	—	—	N.D.	N.D. (4.6)	N.D. (3.3)	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カラカケカワゲラ属	<i>Paragnetina sp.</i>	クラカケカワゲラ属										
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Neoperla sp.</i>	フタツメカワゲラ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	128	0.031	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	2.9	N.D. (1.3)	2.9	—
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ										
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.029	未成年	—	—	—	3.4	N.D. (1.2)	3.4	—
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	34	0.027	幼生 (オタマギ)	—	—	—	33.1	2.1	31	—
脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	30	0.34	幼生 (オタマギ)	—	—	—	35.5	1.5	34	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓 (胃、腸) の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物 (藻類を含む) とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。